

平成29年度予算見積調書

課室名：水辺再生課
 担当名：河川維持担当
 内線：5114

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B46	河川緊急機能復旧費		一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修費（水辺）	
事業期間	平成28年度～平成30年度	根拠法令	河川法第9条、河川法第15条の二		挑戦項目	03	大地震など危機への備えの強化	
					分野施策	020518	治水・治山対策の推進	
1 事業概要			5 事業説明					
<p>平成27年9月の関東・東北豪雨や平成28年8月の台風9号など、近年の大規模出水により県民の水害への関心が高まっている。また、これまでに蓄積された護岸の損傷や河床洗掘、土砂堆積は、急な大雨により護岸の崩落や河川の溢水を招く恐れがある。</p> <p>そのため、施設の損傷度や重要度のほか、後背地の状況、浸水実績などを踏まえ、緊急性の高い箇所にて、緊急的に河川管理施設の機能復旧を実施する。</p> <p>これにより、河川管理施設を良好に保ち、治水安全度の向上を図り、県民の安心安全の確保を推進する。</p> <p>河川緊急機能復旧費 820,600千円 (1) 護岸等の緊急機能復旧 755,000千円 (2) 河道内堆積土砂の緊急撤去 65,600千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 護岸等の緊急機能復旧 755,000千円 護岸の損傷等について、法面保護等による機能復旧の実施 河床洗掘により倒壊する恐れのある護岸について、根固め等による機能復旧の実施</p> <p>イ 河道内堆積土砂の緊急撤去 65,600千円 浸水実績のある箇所またはその近傍に堆積している土砂の撤去 川幅に比べて堆積している土砂が極めて多い箇所の土砂の撤去</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 損傷した護岸の法面保護などの機能復旧を計画的に行う。 イ 浸水実績のある箇所やその近傍の土砂が堆積している箇所、堆積土砂が極めて多い河道について計画的に撤去を行う。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 護岸の損傷箇所を復旧することで、河川管理施設全体の安全度が向上する。 イ 河道空間が良好に保たれることで、治水安全度の向上を図るとともに県民の安心安全を確保する。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×2.0人=19,000千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額		県 債						
決定額	820,600	750,000					70,600	301,000
前年額	519,600	416,000					103,600	